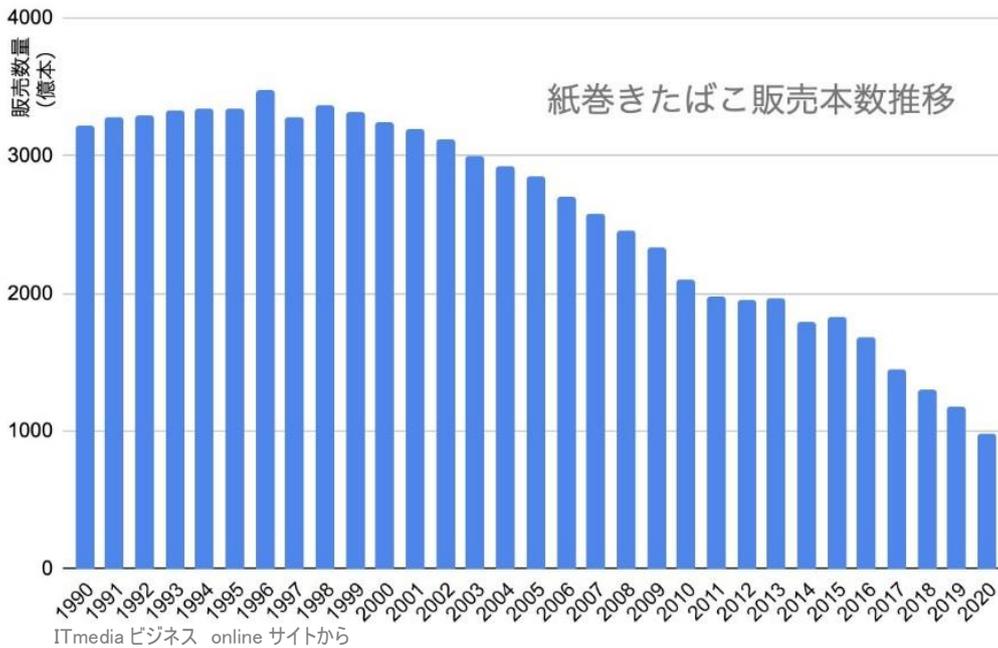


**週刊 タバコの正体**

死亡原因となるほど人体に有害なタバコは、下のグラフにあるように年間1000億本以上も売られています。これほど大量に販売されているという事は、それだけタバコを必要とする喫煙者がいるという事を物語っています。令和4年度の国民健康・栄養調査によると成人喫煙率は14.8%だと発表されているので、全国におよそ1500万人前後の喫煙者がいると推計されます。この1500万人もの喫煙者が、ほぼ毎日タバコを消費するわけですから、タバコは確実に売れる商品なのです。



そこで、一番下のコンビニの商品群別売上高のグラフを見てください。なんとタバコの売り上げが全体の25%を超え、売り上げのトップに位置しているのですから「タバコは確実に売れる」事がわかります。

必要とする人が多く、売れるから販売しているのは当然だといえるのですが、はたして人体に有害なタバコがこんなに売れていて良いのでしょうか。

タバコを必要としない君たちには関係がない事かもしれませんが、喫煙による健康被害に関心を持ってもらう上で、ちょっと気にしてほしいと思います。

産業デザイン科  
奥田 恭久

商品群別売上高構成比率  
(2013年まではチェーン全店・2014年以降は単体、ローソン)

